



みんなの回生

題字揮毫
元県知事・前川忠夫



■ 病院長就任の挨拶・着任医師の紹介	2
■ 肺炎球菌ワクチンについて	3
■ 平成28年度香川MCLS研修を当院にて開催しました	4
■ 平成28年度香川ローカルDMAT研修に参加しました	5
■ はじめまして	6・7
■ 野球部活動報告	8

● 医事課より患者さまへお知らせ

平成28年1月より、毎月初めての受診日には、総合受付窓口にて保険証、現住所、ご連絡先等の確認をさせていただくことといたしました。また、保険証等変更があればその都度お申し出て下さいますようお願いいたします。

回生病院理念

皆さまに愛され信頼される病院を目指します

回生病院基本方針

- 一、私たちは質の高い医療を提供します
- 一、私たちは保健・医療・福祉と連携を図ります
- 一、私たちは予防医療の充実に努めます

患者さまの権利と責務

- 一、患者さまには、最善で公平な医療を受ける権利があります
- 一、患者さまには、医療内容について十分な説明と情報を受ける権利があります
- 一、患者さまには、医療行為について選択・同意・拒否する権利があります
- 一、患者さまには、個人情報を保護される権利があります
- 一、患者さまには、自らの健康に関する情報を提供する責務があります
- 一、患者さまには、病院の規則を守る責務があります

2017年5月
284号

端午の節句
5月

病院長就任の挨拶

病院長 杵川 文彦



この度、鎌野周平前病院長の後任として、4月1日より病院長に就任いたしました杵川文彦です。昨年4月から当院に副院長として勤務しておりましたが、新たな任務に身の引き締まる思いです。私は消化器内科医として、研修終了後は内視鏡検査を中心に医療に携わってまいりました。私が今まで勤務してきた病院は香川大学医学部附属病院、KKR高松病院、宮野病院、内海病院、さぬき市民病院と現在の回生病院で、それぞれ性格の異なる病院を経験させていただきました。今まで在籍した病院の特徴も参考に、当院をさらに良い病院にしたいと考えています。

甚だ微力ではございますが、職員一同と手を携え地域医療に貢献して参りたいと存じます。充実した地域医療を提供するため全力を尽くす所存でございますので、前任者同様格別のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

着任医師の紹介

脳神経外科課長

岡本 薫学



脳神経外科所属の岡本薫学です。出身は丸亀市になりますが、川崎医科大学卒業後に兵庫県で研修を行ってきました。

専門は脳血管内治療です。脳神経外科治療といえば開頭術が思い浮かぶと思います。しかし、より低侵襲な治療法としてカテーテル治療を導入していきたいと考えています。急性期脳梗塞や脳動脈瘤、頸動脈狭窄など幅広く脳外科疾患を対象としています。至らぬ点多々あると思いますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。

心臓血管センター課長

村西 寛実



初めまして、平成18年三重大学卒の村西寛実と申します。出身は大阪で現在38

歳です。今まで大阪、京都、福岡等の病院でカテーテルインターベンション治療を中心に進んでまいりました。香川県は初めてでわからないことだらけですが、回生病院のために尽力したいと思っております。これからご指導ご鞭撻のほどを何卒よろしく願います。

肺炎球菌ワクチンについて

診療部長 近藤 隆史
呼吸器内科

現在、肺炎は高齢者（65歳以上）の死亡原因の第3位で、他の病気で死亡される場合も、最後は肺炎で亡くなる事が多く、その予防が重要となっております。肺炎の原因菌としては、肺炎球菌が一番多いと言われており、我が国では、平成26年10月より肺炎球菌ワクチンの高齢者に対する定期接種が行われております。

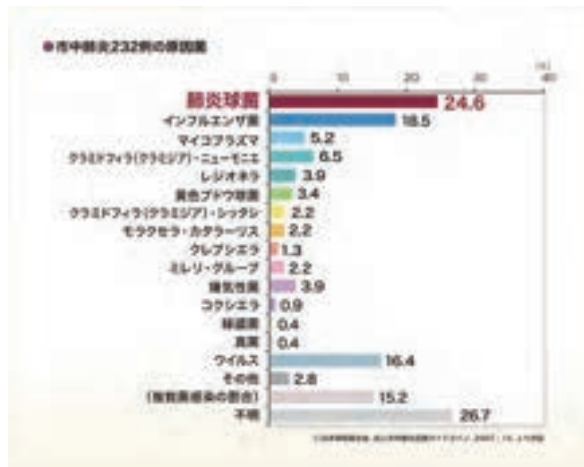
対象者は、その年度に満65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になられる方で、今までに肺炎球菌ワクチンを接種した事がない方です。対象年齢の方には、市町村から文書で通知があると思います。また、60歳から65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能障害やヒト免疫不全ウイルスによる免疫障害のため、日常生活が極度に制限される程度の障害がある方も対象者となります。対象者には公的補助が市町村からありますので、詳しくはお住まいの市町村でお尋ね下さい。坂出市では、一般の接種対象者の自己負担額は2400円となっております。

肺炎球菌と言っても1種類ではなく90数種類あり、現在定期接種で使用されているワクチンは、23種類に対応しており、これで肺炎球菌感染の7割程度の予防に有効と言われております。肺炎の原因菌は他にも様々ありますので、肺炎球菌ワクチンを接種したから肺炎にならないという訳ではありません。また、接種から免疫（抗体）ができるまで、約3週間かかります。肺炎の予防には、うがい、手洗い、歯磨き、マスクなどの一般的な注意も忘れないように行うことが重要です。

肺炎球菌ワクチン接種の副反応としては、接種した所の痛み、腫れが生じる事がありますが、殆どは数日で自然に改善します。他に筋肉痛、だるさ、頭痛、発熱等がまれに見られますので、接種後気になる症状がありましたら、医師に御相談下さい。1回接種しますと5年以上有効とされており、5年以上経過すれば再接種できますが、5年以内に再接種を行うと副反応が強くなる場合があると言われており、注意が必要です。

万一、副反応のために、治療が必要となった場合や、生活が不自由となった場合は、法律で定められた救済制度（予防接種健康被害救済制度）がありますので、受診した医療機関やお住まいの市町村に御相談下さい。

当院では、現在、毎週火曜日の午後、予約制で接種を行っておりますので、ご希望の方は、お気軽に内科外来窓口でお申し込み下さい。



平成29年度接種対象者

今年度以下に以下の年齢になる方が定期接種の対象となります。

65歳	昭和27年4月2日～昭和28年4月1日生まれの方
70歳	昭和22年4月2日～昭和23年4月1日生まれの方
75歳	昭和17年4月2日～昭和18年4月1日生まれの方
80歳	昭和12年4月2日～昭和13年4月1日生まれの方
85歳	昭和7年4月2日～昭和8年4月1日生まれの方
90歳	昭和2年4月2日～昭和3年4月1日生まれの方
95歳	大正11年4月2日～大正12年4月1日生まれの方
100歳	大正6年4月2日～大正7年4月1日生まれの方

※平成29年度とは・・・平成29年4月1日～平成30年3月31日までのことをいいます。

平成28年度香川MCLS研修を当院にて開催しました

災害管理室

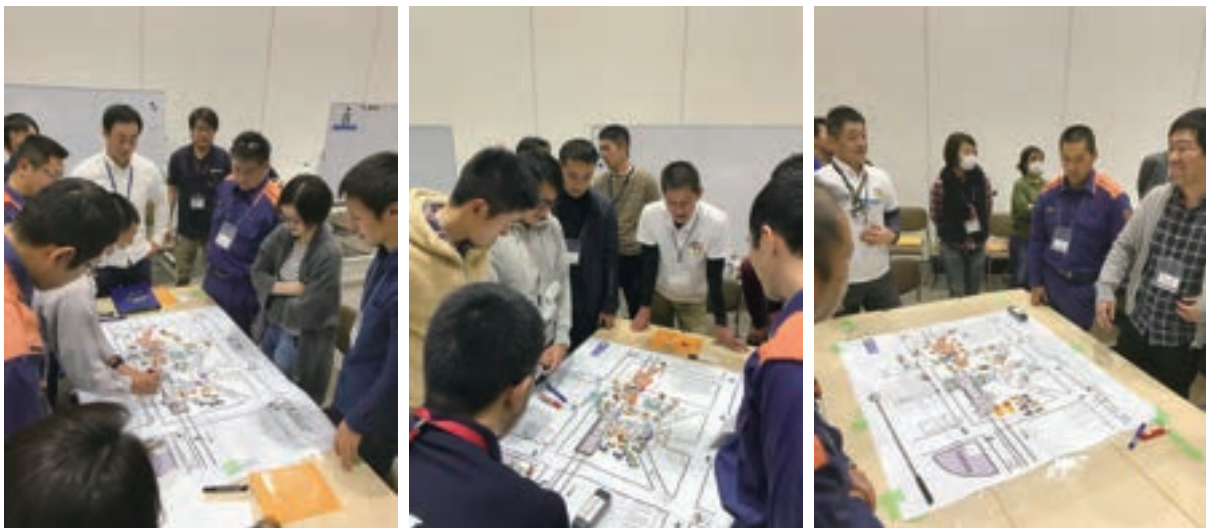
1月21日(土)、22日(日)の両日、香川県からの委託事業として香川MCLS研修会を回生病院が主催しました。

MCLSとは、Mass Casualty Life Supportの頭文字で、多数傷病者への対応標準化トレーニングコースを意味します。防ぎ得た災害死を減らすことを目的に開発され、災害時の消防・警察・DMAT等の連携や初動対応について学ぶ内容となっています。

香川県医務国保課と危機管理課の共催を得て開催し、当院新館5階講堂を主会場に、大会議室や教育ラボラトリーも使用して、講義やシミュレーション指導などが行われました。

標準コースは、香川県内消防署から32名と医療機関から4名が受講し、インストラクターコースは、10名が受講しました。当院からは救急センター医師2名が標準コースを受講しました。また指導スタッフとして、県内外から55名に参加していただきました。

参加いただいた受講者より、とても有意義な研修会であり、今後発生する災害に対して準備の一助となったこと、今後県内災害拠点病院及びDMATとの連携を図りたいとのご意見をいただきました。



平成28年度 香川ローカルDMAT研修に参加しました

回生病院DMAT

1月28日(土)、29日(日)の両日に香川県立中央病院で開催された香川ローカルDMAT研修に、当院理事長をはじめ4名のスタッフが受講しました。メンバー構成は、整形外科医師1名、看護師2名、薬剤師1名の計4名です。

DMATとは、「災害急性期から活動できる機動性を持った医療チーム」のことを指し、当院では現在25名が隊員資格を保有しており、過去には東日本大震災・熊本地震に当院DMATが出勤しています。DMATは、被災地内の病院支援、災害現場への医療提供だけでなく、被災地内の医療搬送から航空機を使った広域医療搬送までも担当します。熊本地震では、崩れかけた病院から被災地外医療施設へ、安全に患者を転院させる病院避難活動を行いました。また、避難所支援活動を行い、急性期から慢性期までDMATの活躍の場を広げております。今後起こると想定されている首都直下型地震、東海地震、東南海地震、南海トラフ地震でも、大きな役割を期待されており、毎年全国レベルの訓練が開催されています。県内で大災害が発生した際には、香川県庁の災害対策本部に当院からDMATを送り込むことも決定されており、災害時に果たすべき当院の役割は益々大きくなっています。



病院図面を使い、スタッフ配置検討中



傷病者をトリアージしている様子

はじめまして



臨床検査技師

北島 万由

今年の4月から回生病院で勤務させていただくことになりました、臨床検査技師の北島万由と申します。

臨床検査で得られる検査データは、医師が正確な診断を行い、治療方針を決定する上で、非常に重要なものになります。私は臨床検査技師から医師に伝えられる迅速かつ正確な情報がいちをを守る医療現場を支えているというところに強い魅力を感じ、臨床検査技師になりたいと思いました。

まだまだ未熟ではありますが、回生病院の一員として患者様や職員の皆様に信頼されるよう責任のある行動を心掛け、日々多くのことを学び、技術を磨いていきたいと思っております。皆様、どうぞよろしくお願いたします。



薬剤師

山地 晃平

今年の四月から回生病院で勤務させていただくことになりました、薬剤師の山地晃平と

申します。病院の中の薬剤師は、チーム医療に関わるスタッフの中で薬の専門家として、薬物治療を安全で効果的に行うために責任ある立場だと考えています。

また、専門的な知識の他に、他のスタッフと患者さんとの間を取り持つ高いコミュニケーション力を必要とする役割ではないかと考えています。自分自身まだ至らぬところがありますが、回生病院の「皆様に愛され信頼される病院を目指します」という理念を忘れずに、患者さんのために日々自己研鑽する気持ちで大切にして努力していきたいと思っております。皆様、どうぞよろしくお願いたします。



看護師

井上 瑞稀

今年の4月から回生病院で勤務させていただくことになりました、看護師の井上瑞稀と申します。小さい頃から人の役に立つ仕事がしたいと思っており、気がつく看護師を目指していました。今回、地域医療支援病院である回生病院で働けることを大変嬉しく思っております。

現在の医療は、病院から地域医療へと変化しており、在院日数も以前と比較すると短くなっていると思います。その分、患者様と接する時間も短くなってくると思いますが、限られた日数・時間の中でも相手の立場に立ち、

寄り添うことの出来る看護師でありたいと思っております。

未熟で至らないところも多々あると思いますが、回生病院の一員として一生懸命努力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願致します。



看護師

越智 鈴菜

今年の4月より、回生病院で勤務させていただくことになりました看護師の越智鈴菜と申します。

学生時代から回生病院で実習させて頂き、患者さんに直接優しく手で触れ患者さんの心に近づく看護の大切さを学びました。看護師は患者さんがいることで本来の力を発揮することが出来る仕事です。患者さんやご家族の立場に立ち、どんな看護が一番必要なのか、必要としている看護は何なのかを常に考え看護のプロとして先輩方から学んでいきたいと思っております。

これからどんなことがあるのか全く想像がつかず不安に思うこともあります。持ち前の明るさと笑顔でチーム医療の一員として、患者さん一人一人に関わってまいります。これからよろしくお願いたします。



看護師

福家 正大

本年度4月より回生病院で勤務させていただくことになりました、看護師の福家正大と申します。

私は看護師という職業に中学生のころから憧れていました。ついにこの春長年の夢を叶え、看護師になることが出来ました。

私は正しい知識と技術を身につけ、どのような場面でも患者様やその御家族に寄り添い、様々な面からサポートし、個性のある看護を提供していけるような看護師を目指そうと思っています。

まだまだ新人で至らぬ点は多くあると思います。

地域医療支援病院であるこの回生病院で皆様のお役に立てるよう日々頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



看護師

峰久 幹歩子

4月から回生病院で勤務させていただくことになりました、看護師の峰久幹歩子と申します。

学生時代、「妻や僕は、君の看護師人生の中で関わる大勢の患者の中の一人だろうけど、

私らにとって看護師さんは、特別でずっと心に残る存在なんだよ」とおっしゃったご家族がおられました。患者様やそのご家族は、様々な思いで病院に来院され、自分達に一番近い看護師に対して、信頼や安心感を求めているのだと感じました。そんな様々な思いに触れ、寄り添うことのできる看護師として、地元の回生病院で働けることを誇りに思います。

未熟で至らない点も多々あると思いますが、多くの知識や技術を吸収し精進しながら、地域の皆様に貢献していきたい所存です。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



平成29年度入社式



野球部活動報告



新緑の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、回生病院野球部 Energy チーム創設から、おかげさまで約1年が過ぎました。メンバーも増え、選手、マネージャー、総勢43名となり益々盛り上がってまいりました。昨年度は半数以上が素人のため、まず試合ができる事を目標に一年間練習を行ってまいりました。その成果もあり、なんとか形のある試合ができる程になりました。今年度からは更にステップアップし、地域リーグにも参加しております。まだまだチームとしては赤子のようなものですが、医師、看護師、コメディカルの枠を超えて一致団結して頑張っております。

院外の皆様、練習試合のオファーを心よりお待ちしております。また、院内の皆様、気持ちがあれば技術や経験は全く問いませんので、是非一緒に汗を流しましょう！

チーム戦績

2016年	6勝4敗	得点56	失点59	(全て練習試合)
2017年	3勝3敗	得点36	失点41	(公式戦1試合含む)
(2017年4月2日現在)				

お問い合わせ先：baseballclubkaisei@yahoo.co.jp

